

国内肥料資源利用拡大対策について

～国内資源を使った肥料の利用者向け～

海外からの輸入原料に依存した肥料から、国内資源を活用した肥料への転換を進めるため、肥料の原料供給者・製造事業者・肥料利用者が連携して取り組む新たな肥料の効果検証や散布機の導入等を支援します。

支援対象者（事業実施主体）

国内資源由来肥料の効果の検証に取り組む農業従事者が5人以上参加し、定款、組織規程及び経理規程等の組織運営に関する規程が定められている者（農業協同組合、その他農業者が組織する団体、民間事業者等）

※上記要件を満たす者を含むコンソーシアムとしても申請可能です。

支援の内容

【総合推進支援（ソフト支援）】

- ①国内資源由来肥料を用いた栽培実証及び土壌分析
- ②事業の効率的な取組に必要な調査
- ③取組拡大のための情報発信
- ④分析・散布等に必要な機械の導入



散布機（ブロードキャスター・マニユアスプレッダー等）の導入

【施設総合整備支援（ハード支援）】

- ⑤肥料の流通保管施設等の整備



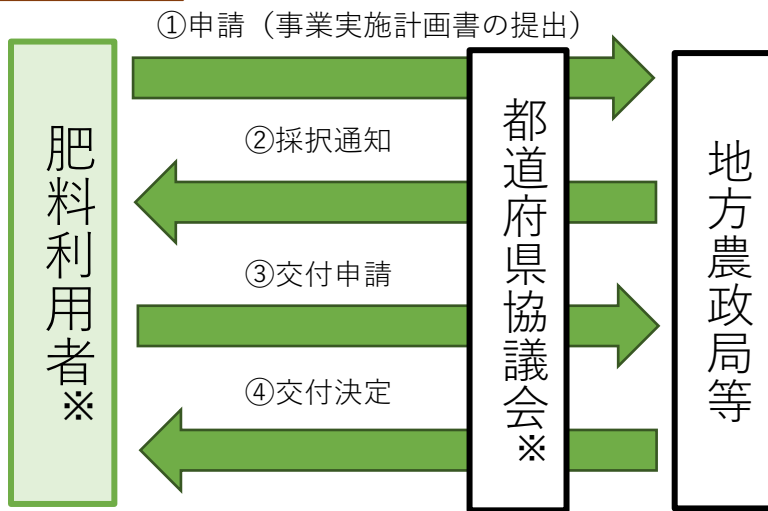
保管施設の整備

※補助率は、④⑤が1/2以内、それ以外は定額です

補助対象経費

- 機械器具費（肥料散布機、分析器等）
- 資材購入費
（栽培実証に必要な国内資源由来肥料等）
- 資材運搬費
- 備品費
- 会場借料
- 通信・運搬費
- 施設等の整備又は改修に必要な経費
- 借上費
- 印刷製本費
- 消耗品費
- 情報発信費
- 燃料費
- 旅費
- 謝金
- 委託費
- 役務費
- 雑役務費
- 賃金等

申請方法



※取組範囲が都道府県域を越える場合は、直接、地方農政局等へ申請することも可能です。

スケジュール

第1次募集：
12月21日～1月20日
(令和4年度の取組)

第2次募集：
2月上旬開始予定
(令和5年度の取組)

※原則、取組範囲が都道府県域を超える場合は公募、超えない場合は都道府県協議会を通じた要望の取りまとめを行います。

事業実施計画書の作成

事業実施主体は、連携計画を添付した事業実施計画を作成して、申請をします。

【成果目標】

取組内容に合わせた成果目標を設定します。

成果目標 (例)	現状値 (A)	目標値 (B)	増加量 (B-A)
(ソフト支援を活用する場合) 国内資源由来肥料の 施用面積を増加	3ha	10ha	7ha

【取組内容】

取組内容や取組時期を記載します。

(例) ソフト支援を活用する場合

- ・土壌分析 (3月、11月)
- ・肥料の購入・運搬・散布 (4月)
- ・栽培実証 (5月～10月)
- ・検討会 (12月～1月)

※ハード支援とソフト支援を活用する場合は、ハード支援の目標や取組も併せて設定します。

【連携計画】

国内肥料資源の利用拡大に向けて事業実施主体が連携するプレイヤーと取組内容を整理します。

※申請時点で具体的なプレイヤーを記載できない場合は、想定されるプレイヤーや地域等を記載。

(例)

肥料原料供給者

A農協

堆肥入り混合肥料Bの原料となる堆肥の
製造・供給

肥料製造事業者

Bメーカー

堆肥入り混合肥料Bの製造・供給

事業の詳細はこちら▶



関係事業者間の連携を推進するため、事業者情報を一元的に収集し、互いに閲覧できるマッチングサイトを開設しました。